

令和7年度「あんしん救急」及び「救命講習」に関するアンケート 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q12 では、救命講習の実施日時について「平日や土日祝の日中（9～17時）」のニーズが高いことが分かりました。この結果を踏まえ、今後は時間や曜日の偏りが発生しないよう、講習日程を調整していく予定です。

また、Q13 では救命講習の実技（人工呼吸）に関する意見を伺うことができました。この結果は、より安心して受講できる環境整備に向けた検討に活用します。

さらに、「あんしん救急」に関する救急広報の効果を確認するための指標の一部としても活用する予定です。

2 アンケートを実施した感想

Q4 では、約9割の方が心肺蘇生法を習得する必要性を感じているものの、実際に救命講習を受講したことがある方は、約6割にとどまっていました。その中でも、消防機関が主催する救命講習の受講が2割程度であることが分かりました。

また、Q11 では、講習を受講したことがない方のうち、7割程度の方が「受講してみたい」と回答している一方で、講習があることを知らないと回答した方が半分以上を占めていました。

消防局では、平成6年度から応急手当の普及啓発に取り組んできましたが、まだまだ市民の皆様に講習が開催されていることを周知できていない実態を把握することができました。このため、救命講習の機会を確保するだけでなく、講習の開催についての効果的な広報等を検討していく必要であると改めて認識することができました。

3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。
あんしん救急や救命講習に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。

今後も、市民の皆様のニーズに合わせた救命講習等が実施できるよう検討を進めていきます。

担当：消防局救急指導課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。